

床下樹脂点検口・床下樹脂収納庫（断熱タイプ兼用）

施工説明書

下記説明を御覧の上、正しく施工してください。誤って施工すると、製品の破損や床鳴りなどの不具合が発生する事があります。

警告及び注意マークについて

- 本施工説明書では「警告」「注意」を次のような定義で使用しています。施工前に注意深く読み、よく理解してください。

- ⚠ **警告** 誤った取扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
- ⚠ **注意** 誤った取扱いをすると使用者が傷害を負う可能性、物的損害の発生可能性があります。

施工上の注意

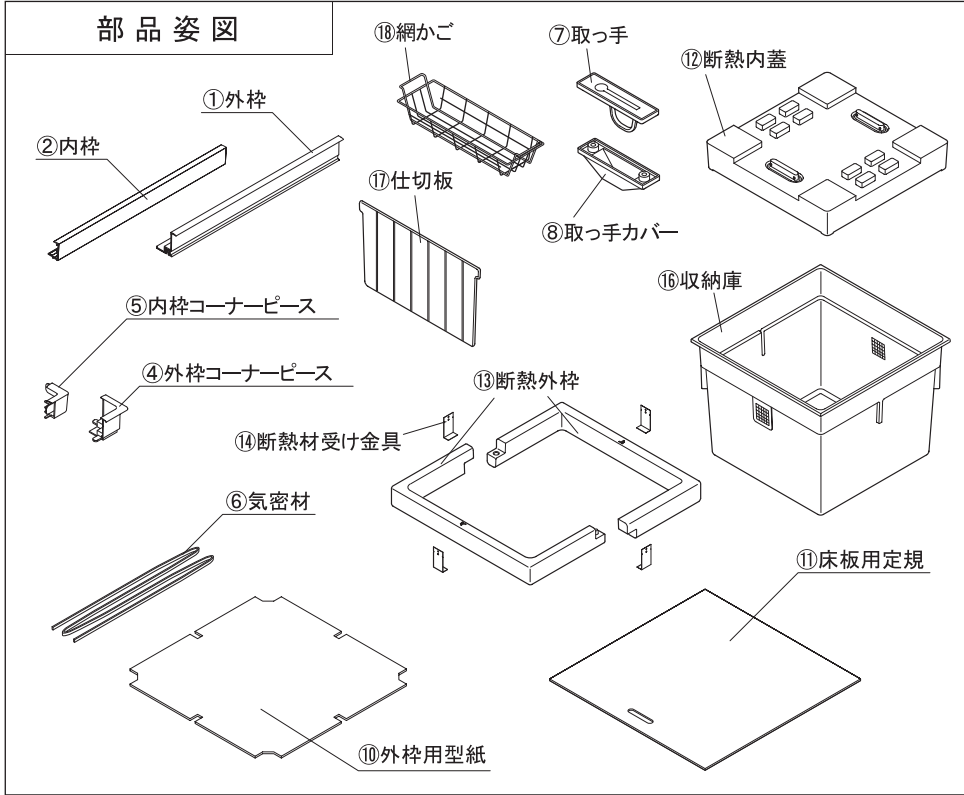
- ⚠ **注意**
- 床仕上げ材に無垢材を使用しないでください。無垢材の反りや伸縮により、ふたが変形することがあります。
- 施工に用いる木材は、反りが無い乾燥材を使用してください。破損の原因となります。
- 収納庫を使用する際は、収納庫の底部をモルタルや砂袋で受けてください。モルタルで受ける場合は底部がモルタルにじかに触れないよう、ビニールシートなどを敷いてください。
- 枠材、断熱材、収納庫は樹脂製で可燃物です。溶剤に触れたり火気に近づけたりしないでください。

施工後の注意

- 床にワックスを塗布する際は、枠にワックスが付着しないようにしてください。付着するとふたの気密材が剥がれることがあります。

梱包内容

部品No.	製品名 部品名	床下樹脂点検口 JT（一般タイプ）	床下樹脂点検口 JTD（断熱タイプ）	床下樹脂収納庫 JS（一般タイプ）	床下樹脂収納庫 JSD（断熱タイプ）
①	外枠	4	4	4	4
②	内枠	4	4	4	4
③	枠材取付ネジ	24	24	24	24
④	外枠コーナーピース	4	4	4	4
⑤	内枠コーナーピース	4	4	4	4
⑥	気密材	1	1	1	1
⑦	取っ手	1	1	1	1
⑧	取っ手カバー	1	1	1	1
⑨	取っ手取付ネジ	2	2	2	2
⑩	外枠用型紙	1	1	1	1
⑪	床板用定規	1	1	1	1
⑫	断熱内蓋	-	1	-	1
⑬	断熱外枠	-	2	-	2
⑭	断熱材受け金具	-	4	-	4
⑮	断熱材受け取付ネジ	-	4	-	4
⑯	収納庫	-	-	1	1
⑰	仕切板	-	-	1	1
⑱	網かご	-	-	1	1
⑲	施工説明書	1部	1部	1部	1部
⑳	取扱い説明書	1部	1部	1部	1部



施工の前に

- 床面の水平を確認してください。
- 収納庫を使用する場合、床面から土間までの高さが500mm以上必要です。

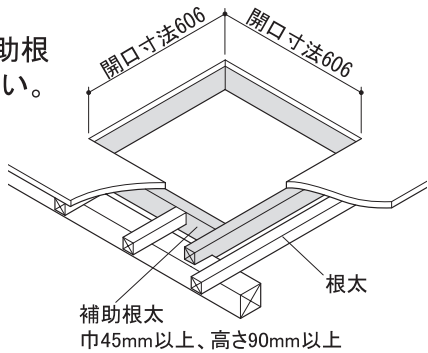
施工

1. 床組み

床に606×606mmの開口部を設けます。補助根太は巾45mm以上、高さ90mm以上にしてください。

⚠ 注意

- 開口部が床面からの荷重に耐えられるよう、補助根太は根太や大引に連結し、十分に強度を確保してください。
- 開口部の補助根太と捨張合板および、捨張合板と床仕上げ材は、釘や接着剤で確実に固定してください。

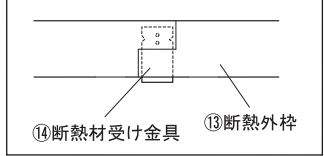


2. 断熱外枠の取り付け（断熱タイプの場合のみ）

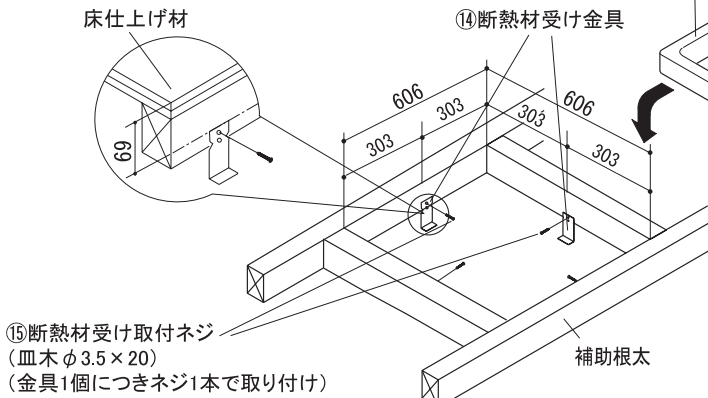
補助根太の下図の位置（4ヶ所）に断熱材受け金具を断熱材受け取付ネジ（皿木φ3.5×20）で固定します。（断熱材受け金具は、右図の断熱外枠ジョイント部にくるようにする）

次に断熱外枠を下図のように組合せ、“上”と書いてある側を上にし、断熱材受け金具の上に乗せます。

◎断熱外枠ジョイント部



⑬断熱外枠※
※ 図は床下樹脂点検口断熱タイプを示す

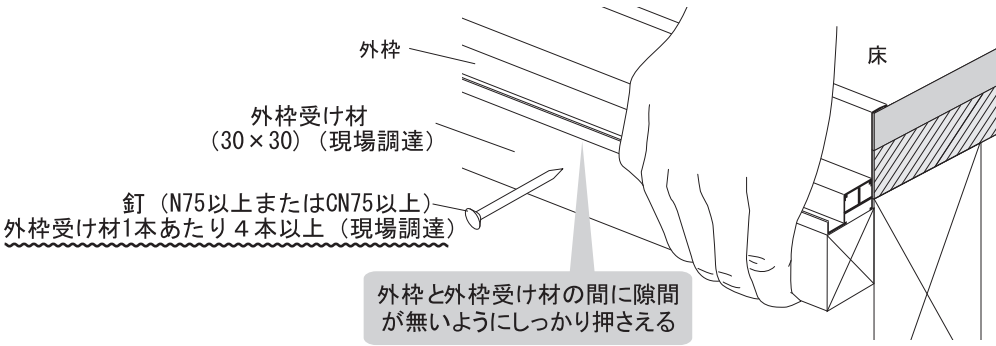
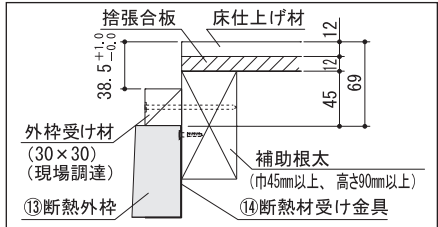


3. 外枠受け材の取り付け

外枠受け材（30×30 現場調達）を補助根太に沿って、床仕上げ面から38.5⁺¹₋₀mm下の位置に固定します。

N75以上またはCN75以上の釘で、外枠受け材1本あたり4本以上で釘止めします。

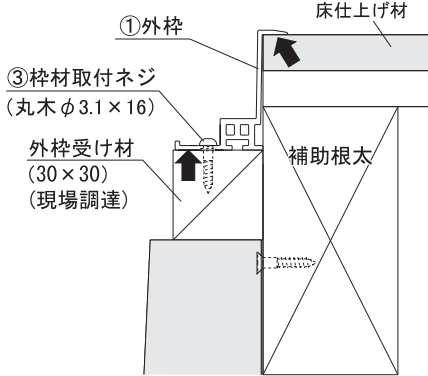
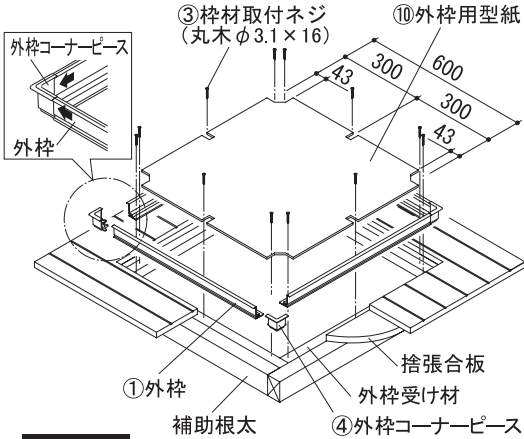
〈参考〉床仕上げ材厚さ12mmの場合



※ 図は床下樹脂収納庫タイプを示す

4. 外枠の取り付け

外枠に外枠コーナーピースを差し込んで、枠を作ります。
枠を床開口部にセットした後、外枠用型紙を落とし込んで枠のゆがみを修正し、型紙の切り欠き部をねらって枠材取付ネジ（丸木φ3.1×16mm）で固定します。



※ 図は床下収納庫断熱タイプを示す

⚠ 注意

- 外枠と床仕上げ材、コーナーピースの間（➡部）に隙間が無いように固定してください。
- 外枠にゆがみが無いように固定してください。（外枠が曲がっていないか、外枠の対角寸法が同じか）

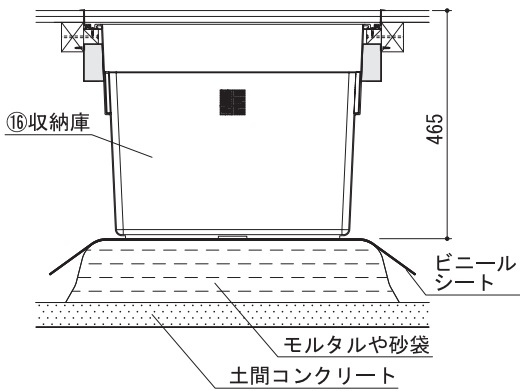
5. 収納庫の取り付け

(収納庫付きの場合)

右図のように収納庫の底部をモルタルや砂袋で受けて、収納庫を設置します。

注意

- モルタルで受ける場合はビニールシートを敷いてください。
- 収納庫が外枠より浮き上がらないようにしてください。

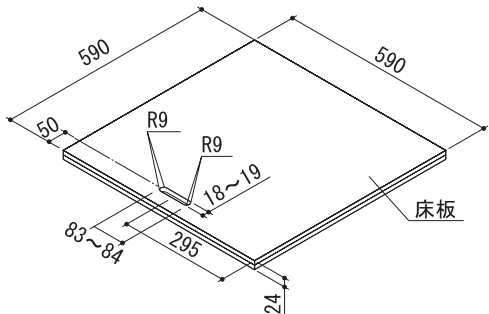


6. 床板の取り付け

①内枠に入れる床板を下図の寸法で作ります。加工の際は床板用定規を使用します。

警告

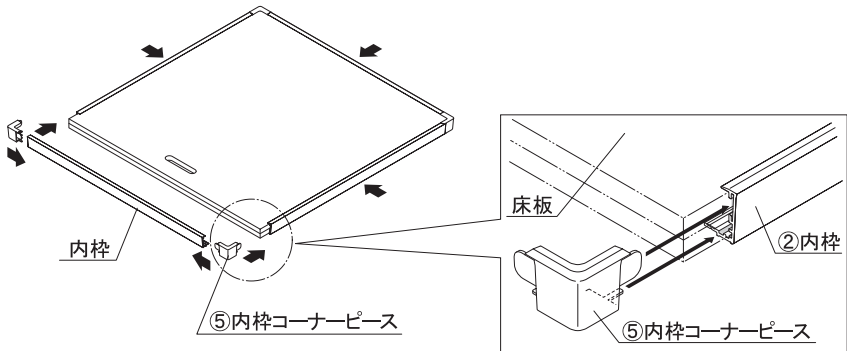
- 床板は、仕上げ材に捨張合板を貼って必ず厚さ24mmにしてください。
- 床板を24mmに調整する際、反りがないようにしてください。



注意

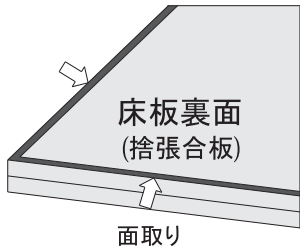
- 床仕上げ材と合板の接着は確実に行ってください。接着剤は全面均一塗布してください。床仕上げ材のさね部は確実に接着してください。
- 床仕上げ材と合板の端面は確実につら合わせをしてください。
- 床仕上げ材の反りに十分注意してください。
- 床仕上げ材の対角寸法差は1mm以内としてください。

②加工した床板に内枠と内枠コーナースピースを一辺ずつはめ込みます。

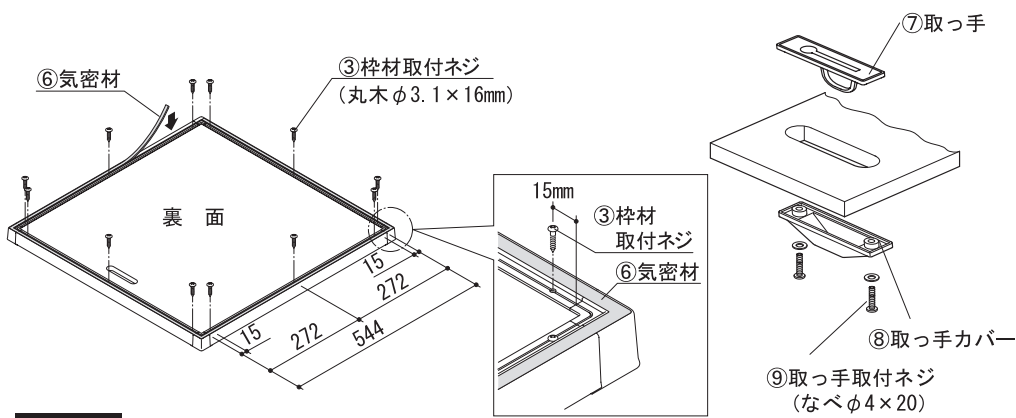


注意

- 内枠に床板がはまりにくい場合は床板裏面の4辺を面取りしてください。無理にはめ込むと破損の原因となります。



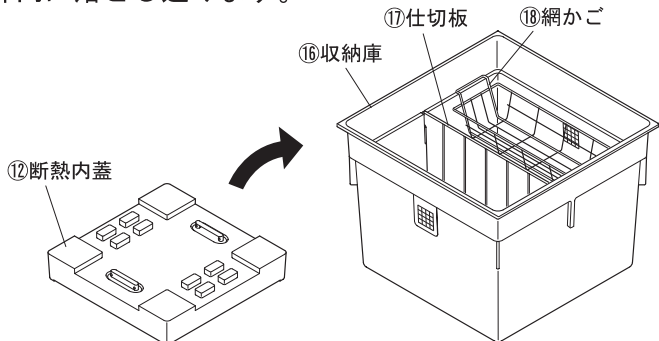
③裏面から内枠を枠材取付ネジ(丸木φ3.1×16mm)で固定して、ふたを作った後、気密材の離型紙をはがし下図の位置に貼り付け、取手を取り付けます。



注意

- 内枠にゆがみが無いようにネジ固定してください。(外枠内にふたを入れ、四辺の隙間が均一になるよう調整しながら固定してください)
- ネジは締め過ぎないでください。内枠が変形することがあります。

※収納庫付きの場合は仕切板と網かごを下図のように収納庫内に設置し、さらに断熱タイプの場合には断熱内蓋をはめ込みます。最後にふたを外枠内に落とし込みます。



7. 施工後の確認

施工後、必ず次の項目を確認ください。守られていないと事故の原因となります。

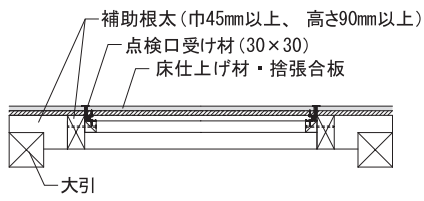
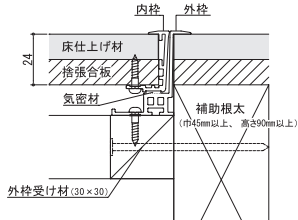
チェック項目	不具合がある場合の原因
ふたの開閉がスムーズか？	●ふたの床板寸法が正しくない ●開口寸法が正しくない ●外枠や内枠がゆがんで固定されている
内枠と外枠の段差は無い？ (1mm以下)	●床板が反っている ●取手の位置が正しくない ●収納庫の高さが正しくない ●収納庫の仕切板、網かごが正しく設置されていない。

施工確認後、取扱い説明書を施主様へお渡しください。

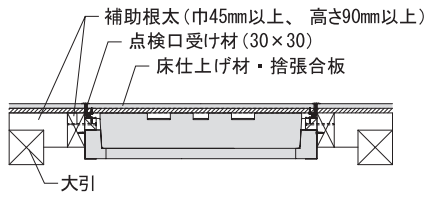
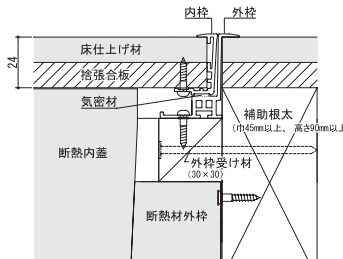
参考納まり図

根太工法

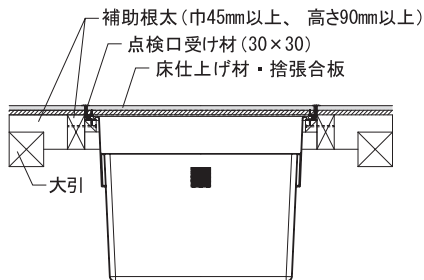
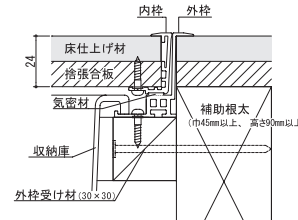
◆床下樹脂点検口 JT



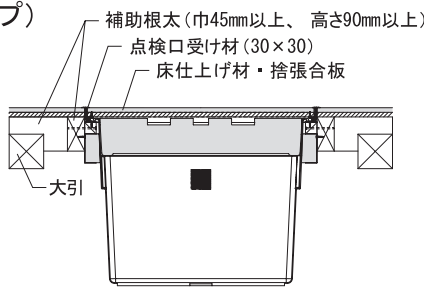
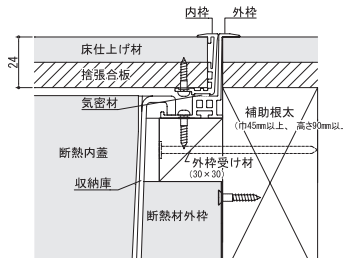
◆床下樹脂点検口 JTD (断熱タイプ)



◆床下樹脂収納庫 JS

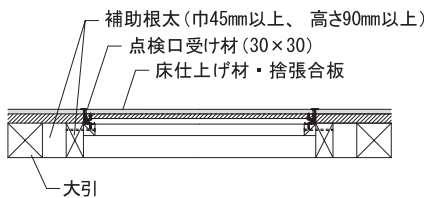
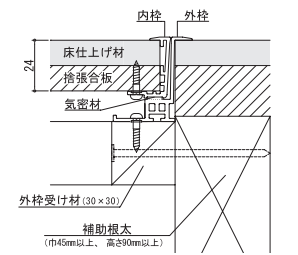


◆床下樹脂収納庫 JSD (断熱タイプ)

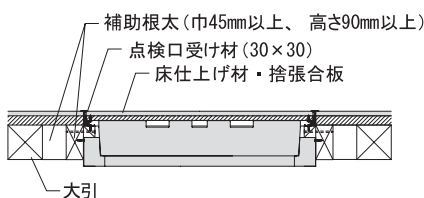
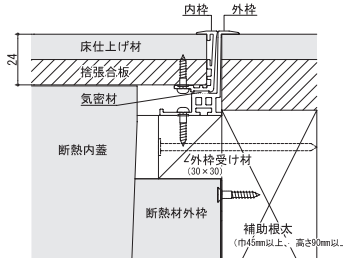


根太レス工法

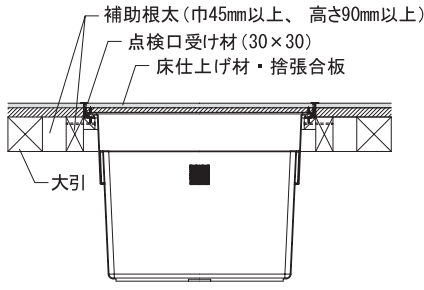
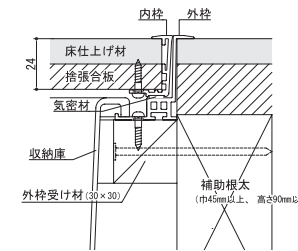
◆床下樹脂点検口 JT



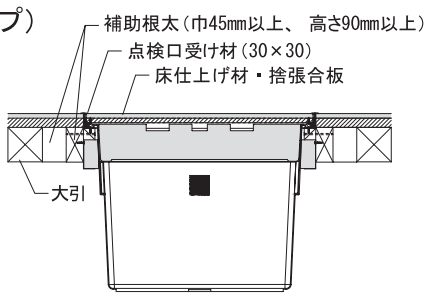
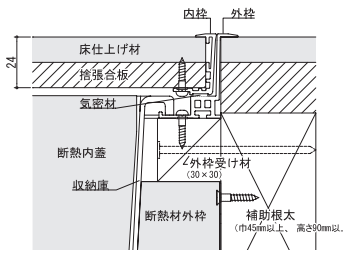
◆床下樹脂点検口 JTD (断熱タイプ)



◆床下樹脂収納庫 JS



◆床下樹脂収納庫 JSD (断熱タイプ)



フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585

<https://www.fukuvi.co.jp>

2020.5